

ドキッ ヒヤリ イライラ を解消

# 子育てがラクになる 設備・建材の選び方

小さい子どもは突拍子もない行動をして、親をヒヤヒヤさせるもの。意外と多い家の中の事故やケガを防ぎ、子育てのストレスを解消してくれる、さまざまな設備や建材が提案されているので紹介しよう

構成・取材・文/川口章子 デザイン/越地綾子 イラスト/やのひろこ



予期せぬ行動にあらかじめ  
備える設備・建材を選ぶ

お話を伺った方

ミキハウス子育て総研株式会社  
「子育てにやさしい住まいと環境」  
認定士 一級建築士  
仲森真由美さん

同社独自の評価基準で住宅や商品  
プランを認定する「子育てにやさ  
しい住まいと環境」認定士。長年、  
子どものいる暮らしに必要な設備  
や間取り、環境についての評価・  
認定業務に携わっている

今回お話を伺ったのは「子育てにやさしい住まいと環境」認定事業を行っている、ミキハウス子育て総研の仲森真由美さん。子育てに配慮した二戸建てやマンションを数多く見ている経験から、子どものケガや事故を防ぎ、親のストレスを解消する設備・建材選びについてアドバイスをいただいた。「小さな子どもは、大人が予期せぬ行動を必ずするものです。その上、自分で自分を守ることがまだできない年齢ですから、思わぬケガにつながることも少なくありません」。ケガや事故を完全に防ぐことは無理だとしても、できる限りその芽をつんでおくことは可能だ。そのために有効なのが、家の中のつくりを工夫すること。間取りはもちろん設備や建材の選び方次第で、子育てのドキッ、ヒヤリ、イライラはかなり緩和される。そのポイントを知っておこう。

子育てがラクになる  
設備・建材の

3つの  
キーワード

1 予期せぬ動きによる  
危険を回避する  
→ 安心・安全の確保



3 外部からの危険を  
回避する  
→ セキュリティ



2 子育てにまつわる  
イライラを解消する  
→ ストレスをなくす



安心・安全に配慮しつつ  
親のストレスも減らそう

1つ目のポイントは、小さい子ども特有の行動から起きる危険を回避すること。「動きが未成熟、危ないことがわからないといった特性が引き起こすケガや事故を避ける必要があります」。ハイハイ、よちよち歩きの時期からいたずら盛りの時期までをカバーする、安心・安全に配慮した商品が助けになる。2つ目は、親がイライラしたり、叱ったりするシーンをできるだけ減らすしくみを考えること。「子どものいたずらは好奇心の表れでもあります。ダメなことは教えるべきですが、家の中で伸びびできる工夫も大切ですね」。汚れやすい家の中を、ラクにきれいにできるしくみも考えておきたいところだ。

幼い子どもを狙う犯罪を  
回避するしくみを考える

3つ目のポイントは、外部からの危険への備えだ。幼い子どもを狙う犯罪は後を絶たない。乳幼児と家の中で長い時間を過ごす親の不安も、できるだけ解消したいもの。「最近のセキュリティ設備には、スマートフォンと連動した便利なものもあります」。次のページからは、具体的な設備・建材選びについて話を進めていこう。



### 刃物など危険物を手に取れないようにする

キッチン、刃物など危険な道具が多い場所。幼い子どもが興味本位で手に取らないように、しまい場所に配慮するとともに、ロック機能なども検討を。

## キッチン

流し台下の引き出し収納に備えた包丁差しは、ロックをかけることができ、子どもが簡単に取り出せないしくみ。  
●クリナップ「クリンレディ」

取り外し可能なマグネット式のスイッチ。コンロ不使用時は冷蔵庫やレンジフードなどに取り付けておけばチャイルドロックの役割も果たす。  
●ノーリツ「スマートコンロ」

### チャイルドロック機能付きのコンロがオススメ

ガスコンロやIHクッキングヒーターなどの熱源は、子どものいたずらで火傷や火事などのケガ・事故が起こらないよう、チャイルドロック機能付きのものを選んでおくと安心だ。



### 万一割れても危険性の少ない機能ガラスなら安心

子どもが走り回ったりボールをぶつけたりして、万一ガラスが割れると大きな事故につながる恐れが。リビングなどの窓には、強化ガラスの採用を検討してみるのもよいだろう。

## ドア・窓まわり

### 窓や扉は手ばさみ防止機能付きを選ぼう

窓やドアに誤って指をはさむ事故は、大きなケガにつながることも。例えばブレーキ装置付きのものなら、勢いよく閉まる前にいったんストップするので危険を回避できる。



バンッと強く閉まる前に障子がストップする引戸ブレーキ装置付きの玄関引戸。●三協アルミ「セーフティー玄関引戸 MK」



強化ガラス

同じ厚さのフロート板ガラスに比べて3~5倍の強度をもち、万一割れても破片が粒状となり、ケガなどの被害を大幅に抑える強化ガラス。●日本板硝子「ホームタフライト」



フロート板ガラス

## その他

### コンセントのいたずらや思わぬケガを予防しよう

コンセント絡みの事故も意外と多い。差し込み口にピンを差し込んで感電することを防ぐ安全設計のものや、コードのつまづき事故を防ぐものなど、安全機能付きを選んでおきたいもの。

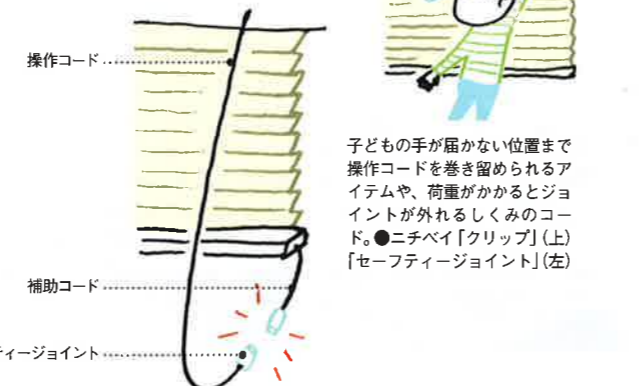


磁石式のコンセントは、電化製品のコードにうっかり足をひっかけても、ポンと外れるので転倒を予防できる。●パナソニック「マグネットコンセント」



### ブラインドのコードなどの引っかかり事故を防ぐ

ブラインドのコードやカーテンのタッセルが首に引っかかる、体に巻きつくという事故が起きている。子どもの手が届かないようにできるものや、強い力がかかると外れるものが安心だ。



子どもの手が届かない位置まで操作コードを巻き留められるアイテムや、荷重がかかるとジョイントが外れるしくみのコード。●ニチベイ「クリップ」(上)「セーフティジョイント」(左)

クリップ



# 1 安心・安全を確保するための設備・建材

### DATA 子どもが赤ちゃんのころに、事故の経験はありますか？(複数回答)



出典：ミキハウス子育て総研「Weeklyゴーゴーリサーチ」2013年1月



万一のケガは最小限に抑え危険には近づかない工夫を  
動き始めたばかりの子どもにもよくあるのが転ぶ、落ちる、はさまなどのケガ。「当社の調査でもこれらの事故が上位に挙がっています(DATA参照)。親が子どもから一時も目を離さないのは不可能ですから、万一の際ケガを最小限に抑えることや、危険な場所に近づかない工夫が必要になります。特に注意したいのが水まわり。例えば浴室は濡れた床ですべりやす

く、浴槽に転落すると溺れる危険もある。「システムバスは、すべりにくい床やチャイルドロック付きの扉がスタンダードになってきています」。また、キッチンは熱源や刃物といった危険なものに簡単に手を出せないしくみのものがある。ほかにも、転落の危険がある階段やバルコニーの手すりは「足をかけられない形状や、子どもがすり抜けられない幅のものを選ぶと安心ですね」。危険をあらかじめ避けられる工夫や配慮のある設備・建材選びを心がけよう。

### すべりにくい床材なら乳幼児との入浴も安心

上の調査結果にもあるように、浴室ですべて転ぶ事故は意外と多いので要注意だ。最近は、すべりにくい床を採用するシステムバスが増えているので、積極的に検討したい。



クッション性の高いやわらかい床は足裏にフィットしてすべりにくい。ひざをついても痛くなく、子どもの世話をしながらの入浴にも便利。●TOTO「お掃除ラクラクはっかり床」

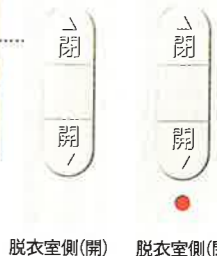
## 浴室

### チャイルドロック付きの扉で事故を防ごう

浴槽で溺れる事故は命の危険にかかわるため絶対に避けたい。使用しないときは水をためないことも一つの方法だが、子どもが一人で浴室に入れないようにしておくで安心だ。



脱衣室側の、子どもの手の届かない位置にチャイルドロックを設置した浴室ドア。施錠されているときは赤い印が見えるようになっている。●LIXIL「浴室中折れドアSF型」



脱衣室側(開) 脱衣室側(閉)



## 収納

子どもの自主的な片付けを促す収納場所を確保

リビングに散乱するおもちゃは悩みの種。あらかじめ収納場所を確保しておくのが得策だ。造り付けの収納なら、見た目もスッキリ。子どもにも「ここに片付けようね」としつけができる。

ユニットを組み合わせて作る造り付け収納。しまうものの大きさや量に応じて奥行、高さ、幅を選べる。耐震ロック付きなのも安心。●DAIKEN [MISEL]

散らかりやすい玄関は土間続きの収納がオススメ

ベビーカーや外遊びのおもちゃなどで散らかりやすく、土ぼこりのたまりやすい玄関には、土間続きの収納を設けるとよい。スペースは広めにしておく、玄関がスッキリ片付く。

一部が土間続きになる玄関収納。土間部分にはベビーカーやスポーツ用品、傘などをしまうことができ、掃き掃除もしやすい。●パナソニック「エントランスパーツ」



## 内装材

落書きに怒らなくて済む便利な壁材がある

落書き問題に悩むより、落書きしても大丈夫な壁材を選ぼう。汚れを落としやすい壁材や、黒板のようにチョークで描ける壁紙がある。「ここだけは描いてOK」と親子で約束するとよい。

チョークで絵が描ける黒板クロス。親子のコミュニケーションの場とするのも楽しい。●サンゲツ「INNOVATIVE WALL BlackBoard」



おもちゃ遊びなどの傷にも強い床がうれしい

子どもは床でおもちゃ遊びをすることが多い。車や電車のおもちゃを引きずって傷をつけることも。傷に強い床材をあらかじめ選ぶことをオススメしたい。

引きずり傷や凹み傷に強く、おもちゃ遊びをしても傷になりにくいフローリング。ワックス掛けが不要なので、手入れもラクだ。●DAIKEN「ハビアフロア ベーシックカラー」



## 2 子育てストレスを解消するための設備・建材

掃除や手入れがラクな設備・建材を選んでストレス緩和

好奇心が旺盛で、善悪の判断がつかない子どもとの暮らしは、時にストレスになる。食べこぼしやトイレトレーニングなどで、室内が汚れやすいのも、この時期の特徴。「いたずらや遊び食べなどは、成長の一過程としてある程度は仕方ないもの。親の側がイライラし過ぎないで済むように、汚れを落としやすい、掃除しやすい設備や建材を選ぶといいですね」。子どもの様子がかうかがいやすいオープンな間取りにするのもオススメ。キッチンの洗いや洗濯物も増える。水まわりの設備も、使いやすく掃除しやすいものを選ぶと、ストレスが緩和されるはずだ。



手洗いより高温で洗うので、汚れ落ちがよく清潔。手が届きにくい哺乳瓶の底やすり鉢の溝、弁当箱の隅などの汚れ落としにも向いている。●パナソニック「K7シリーズ」



## キッチン

哺乳瓶や弁当箱洗いにも便利な食器洗い乾燥機を採用

哺乳瓶や離乳食づくりの道具、弁当箱など、こまごまとした洗物が増える子育て期。家族が増えれば食器の量も増える。家事の時短を図るなら、食器洗い乾燥機がオススメだ。

## 3 セキュリティのための設備



来訪者を映像で確認できるドアホンなら安心

モニター・録画付きのドアホンは来訪者を確認でき、不審者の場合は対応せず証拠を残しておくこともできる。また、玄関先の様子をうかがうためのモニターとしても利用できる。●アイホン「ROCOワイドスマホ」

玄関子機からの呼び出しにスマートフォンでも対応できるので、赤ちゃんの世話で手が離せないときも便利。映像を確認しながらの通話も可能。●アイホン「ROCOワイドスマホ」



安心して遊ばせられるスペースを確保する

自然と触れ合える庭は、子どもの遊び場として最適。扉付きのガーデンルームを設置すれば、リビングから子どもを見守りつつ遊ばせられ、扉を閉めれば不審者の侵入も防げる。

光や風、緑を感じながら、安心して遊ばせられるガーデンルーム。紫外線を約100%カットする屋根パネルを採用。●三協アルミ「ガーデンルーム ハビーナ」

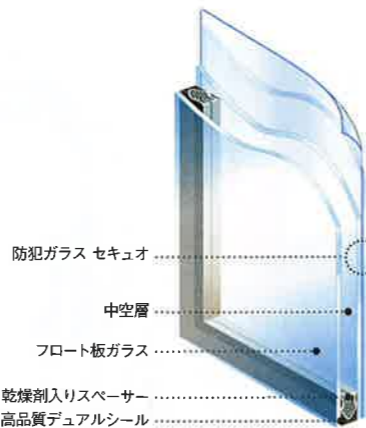
小さな子どもとの暮らしを安心できるものにする

乳幼児の子育て期は、自宅で過ごす時間が長い。母親と幼い子どもだけで家にいると時に不安もおぼえるはず。「来訪者を確実に確認できるドアホンは設置しておきたいですね。録画機能付きのものも普及しています」。不在時のガラス破りなどを防ぐ強化ガラスを、侵入しやすい場所に採用するのもよい。一戸建ての場合は庭で安心して遊ばせられるガーデンルームなどを設置するのもオススメ。

万一の侵入者にも強いガラスを選ぶ

ガラス破りは空き巣の常套手段。侵入しやすいリビングの掃き出し窓などに、割れにくい強化ガラスを採用するのも一つの方法だ。

防犯性能に断熱性能を兼ね備えた、防犯複層ガラス。強靱な厚い中間膜やポリカーボネート板をはさむことで、こじ破りや打ち破りに高い抵抗力を発揮。●日本板硝子「セキュオペア」



## サニタリー

トイレトレーニングのストレスを少なくする床を選ぶ

おむつ外しの時期やうっかりの汚れで掃除が大変なトイレの床は、掃除がしやすい素材を選んでおこう。耐アンモニア性の高いフローリング、セラミック製の大型タイルなどがある。



水が染み込みにくい塗装や基材を使用したサニタリー専用のフローリング。アンモニア汚れに強く拭き取りやすいのも特徴。●パナソニック「アーキスベックフロア-A サニタリー用」

掃除がラクな形状の洗面化粧台がオススメ

洗面だけでなく、食べこぼしや泥がついた衣類の手洗いなどにも活用する洗面化粧台。水はねの始末がしやすく、汚れが付きにくい素材・形状のものを選んで、ストレスを減らそう。

洗面器と一体成形のカウンターはつなぎ目などの凹凸がないため、汚れが付きにくく手入れがラク。水栓まわりに水がたまりにくいのも便利。●LIXIL「L.C. (エルシィ)」



汚れやすいキッチンには掃除しやすい素材を選ぶ

子どもが生まれると、キッチンに立つ時間もぐんと長くなるはず。油汚れなどの掃除が大変なキッチンまわりは、汚れが落ちやすい素材を選んで、手入れをできるだけラクにしておこう。



汚れに強いセラミックパネル+光触媒技術で、キッチンの頑固な油汚れもサッと落とせる。傷がつきにくく色あせない陶器製。●TOTO「ハイドロセラキッチンパネル」